

## 令和2年度第2回障害者支援センター運営委員会議事録

■開催日：令和3年3月22日（月）14時～16時

■場所：横浜市健康福祉総合センター9階 901・902

■出席者：委員総数17名中16名出席

茨木委員長、井上委員、野々垣委員\*、松島委員、渋谷委員、永田委員、大友委員、  
山田委員、熊坂委員、長谷山委員、下山委員\*、谷口委員、早坂委員、室津委員\*、  
笠原委員、小久保委員

（\*オンライン参加者）

（オブザーバー）

内嶋順一顧問弁護士

横浜市3名（障害施設サービス課：品田係長・大田原職員、福祉保健課：松島係長）

■欠席者：川島委員

■次第

〔知久事業推進課長〕

新型コロナウイルス感染症の影響で6月と12月の運営委員会を中止としたため、9月に続いて2回目の開催となる。理事・評議員候補者の選任や令和3年度事業計画・予算について協議していただく。また、初めてオンラインを併用して開催することになり、野々垣委員、下山委員、室津委員がオンライン参加となっている。

○オブザーバー参加者の紹介

〔知久事業推進課長〕

定足数を確認し、運営委員会の成立を報告。

〔森センター長〕

桜も咲き出した。これからいい春が迎えらるるとよいと思っている。

私事であるが、センター長の職について、9年になる。平成16年に障害者支援センターが市社協と一体化して、初代は沼尾センター長であった。東日本大震災の翌年に急逝され、その後を引き継いできた。今年70歳を迎えるにあたり、若い人に引き継ぎたいと2年前から相談をしながら、決意を固めてきた。ちょうど改選期である6月の理事会で退任する形をとることになった。

9年間色々なことがあり、色々な経験をさせていただいた。何ができたか心もとないが、皆さまに引っ張ってきってもらってここまでやってくることができた。市社協、横浜市の方々、本当に色々話を聞いていただいた。この仕事から退いても、これから先もできることがあったら、遠慮なく声を掛けていただき、お役に立てればよい。本当にありがとうございました。

〔知久事業推進課長〕

以降の議事進行は茨木委員長にお願いする。

## 〔茨木委員長〕

今年度、私が谷口先生に代わって委員長になり、今日は森センター長がお辞めになるということで、障害者支援センターがちょうど過渡期にあることをますます心新たにしました。どうやって維持できることは維持し、発展できるものは発展させていくか、ますます運営委員の皆さまのお力が必要になってくるので、今後もよろしくお願ひしたい。

## 1 協議事項

### (1) 次期横浜市社会福祉協議会障害者支援センター担当理事・理事及び評議員候補者の推薦について

資料1に基づいて、候補者の推薦について説明。まず、障害者支援センター担当理事の推薦を依頼したが、指名がなかったため、大貫室長より事務局案を提示。

## 〔大貫事務室長〕

森センター長は弁護士であり、実際に現場では弁護士としての法律的な相談に携わっていただいているため、現在、障害者支援センターの顧問弁護士である内嶋弁護士を次期センター長候補者として挙げさせていただきたいと考えている。

## 〔茨木委員長〕

事務局案についていかがか。

## 〔早坂委員〕

内嶋弁護士にお願ひしたい。

⇒異議なし。拍手をもって承認。

障害者支援センター担当理事候補者に内嶋順一氏が選出された。

続いて、理事及び評議員候補者の推薦を依頼した。

## 〔谷口委員〕

センター長も交代する流れの中で、今まで早坂氏、渋谷氏、八木澤氏がここの代表として支えてくださってきたので、引き続き、新しいセンター長の下でも支えてもらいたいことから同じ3名を推薦する。

## 〔茨木委員長〕

この推薦についていかがか。

⇒異議なし。拍手をもって承認。

理事候補者に早坂由美子氏、評議員候補者に渋谷治巳氏、八木澤恵奈氏が選出された。

## (2) 令和3年度障害者支援センター事業計画・予算について

別冊資料に基づいて、事業計画と予算について説明。

### 〔大貫事務室長〕

別冊資料の1～2ページに基づいて、事業方針、重点取り組みについて説明。

### 〔各課長〕

別冊資料の3ページ以降について、各事業の所管課長より説明。補足事項は以下のとおり。

#### 1 障害児地域訓練会運営費助成事業

障害児が10人以上の参加、週1回以上の活動が助成の対象となっているが、今年度と令和3年度については、2人以上であれば、半額の助成ができるようこども青少年局と調整した。

#### 2 障害者地域活動ホーム事業

予算減は生活支援事業の前年度実績分の減額、また一部人件費によるものである。

#### 3 地域活動支援センター事業障害者地域作業所型運営費等助成事業

「1 運営費」の対象団体が78か所になっており、新設予定事業所2か所が含まれている。予算は新設予定事業所分で増額になっている。

#### 4 障害者グループホーム助成事業

予算増は「6 法定移行支援準備金」「7 法定移行関連費」部分によるものである。令和3年度中に国事業へ4か所が移行予定で準備を進めている。

#### 5 販路拡大事業

予算減は令和元年度、今年度とコロナの影響で売上実績が減っていることによる。

#### 9 地域活動支援事業

予算減は「2 訪問健康相談」の作業所型事業所が国事業へ移行となり、対象団体が減っていることによる。

#### 11 啓発活動事業

予算減は「3 啓発事業の実施」で障害者団体部会作成パンフレットの印刷費分の計上がないことによる。

#### 16 「セイフティネットプロジェクト横浜」支援事業

予算増は「2 災害時の障害者支援の充実」で今年度実施が難しかった災害時の啓発を行っていくことによる。

## 19 障害者後見的支援制度

予算はあんしんマネジャーの産休・育休が終わった関係があり、増額になっている。一部事務費が減額になっているが、総額としては増額になっている。

## 21 移動情報センター運営事業

予算増は委託先である18区社協の人件費の増額による。

## 22 横浜あゆみ荘事業

予算減はコロナ禍で大幅に利用者が減っており、宿泊利用料、レストラン売上げを例年の7割で算定していることによる。

### 〔知久事業推進課長〕

別冊資料の20～22ページに基づいて、予算を説明。

### 〔米山あゆみ荘所長〕

別冊資料の23～25ページに基づいて、予算を説明。

### 〔茨木委員長〕

ご質問・ご意見等いかがか。

### 〔熊坂委員〕

在宅障害児者家庭援護事業について、非常に貴重な支援である。高齢化がどんどん進んでいる中、あまり件数が増えていないのはなぜか。支援をいただいている方からの話で消費税等も上がったので、助成単価をもう少し上げられないかという声も聞いている。貴重な財源の中、有り難いことであるが、もっと利用できる家庭が多いのではないか。手続きが面倒だと若いお母さん方からの声も聞いている。

### 〔知久事業推進課長〕

件数については、年によって増減があるが、たくさん使っていただいていたお子さんの状況が変わって利用回数が大幅に減ったり、逆に増える団体もある。PRが行き届いていないという話も伺うので、工夫をしていきたい。

また、年度が始まる前に案内をして、提出された利用予定で割り振りをしているが、年度の途中でも結果を報告いただき、その後の利用予定も伺い、補助金に無駄が出ないように利用回数の再割り振りをしている。面倒さにつながるかも知れないが、有効に使っていきたいと考えている。また、単価については、昨年度までは3時間単位1,400円でやっていた。使い勝手がよくないとのことから、1時間単位に切り替えて、1時間500円にした。今後も横浜市と意見交換をしながら進めていきたい。

### 〔早坂委員〕

移動情報センターの所管が障害者支援センターに移って、区社協からの相談はどのくらいあって、どのような状況か伺いたい。

#### 〔八木支援課長〕

資料2-2に基づいて、状況を説明。各区社協から障害者支援センターに寄せられる相談については、今年度はコロナの影響の中、どこまで活動をしたらよいか等ボランティアの方々から相談、その対応についてが中心で、根本的な移動に関わる課題について、残念ながら集約するところまではいかなかったと思っている。状況を見ながら、区社協に伺い、きちんと把握し、共有する機会を作っていきたい。

#### 〔下山委員〕

今年度、活動ホーム、作業所型、グループホームなど感染防止に現場ではご苦労が多かったと思う。障害者支援センターから感染防止の助言など、どのようにされていたのか伺いたい。また、アクリル板や消毒液など費用がかかるが、事業所の支出として処理されていたのか教えてほしい。

#### 〔八木支援課長〕

感染症の陽性者が出た時は保健所が入って具体的な対応を進めていくことになる。障害者支援センターへはその前の疑わしい方がいた場合の対応についての相談が入ることが多かった。役所のどこの誰につないだらよいか等の相談を多く受けていた。対策費用については、国・県からも助成金が出ている。横浜市からも助成が出ていたものを活用いただいた。

#### 〔下山委員〕

今年度も消毒液等消耗品が必要になると思うので、現場で困らないように十分な支援をお願いできればと思う。

#### 〔熊坂委員〕

あゆみ荘を利用する人達からクレームがあるのは、いつ行っても駐車場が停められない、場所取りが見受けられると。立体駐車場にできないか等の声もある。マイナスが解消されると利用者が増えると思う。

#### 〔米山あゆみ荘所長〕

今はコロナの影響で非常に利用が少ないので、駐車場スペースは空いている。通常、一番利用が多いのは、プール利用者である様子。プール、都筑センター、あゆみ荘の3施設で駐車場の利用について自分の配属中の間は話し合ったことがなかったので、確認してみたい。あゆみ荘は優先的に障害者の方が使えるスペースはあるので、団体でご利用の際はご相談いただければと思う。

#### 〔長谷山委員〕

障害児地域訓練会運営費助成事業について、保育のところで、10人以上の活動が全然できていない。活動ホームを利用して活動しているところが多いが、1回に2~3組しか受け入れられないので、人数について考えていただいととても感謝している。新しい方の見学もできない状況で人数を増やすことができない。活動する方もとても厳しい状況である。保育は定期的にできているが、学童の方はほとんどできておらず、昨年何から何か月に1回の状況である。実績には上がってこないが、引き続き助成を続けてほしい。

〔茨木委員長〕

他にはいかがが。

本日の協議事項は以上となっているので、全てお認めいただいたということで、ここで報告事項に移らせていただく。それでは、報告事項(1)福祉バス運行事業及び移動情報センター運営事業について、事務局より説明いただきたい。

## 1 報告事項

### (1) 福祉バス運行事業及び移動情報センター運営事業について

〔知久事業推進課長〕

資料2-1に基づいて、福祉バス運行事業について説明。

〔茨木委員長〕

ご質問・ご意見等いかがが。

〔松島委員〕

福祉バスの利用時に乗車人数にルールはあるか。隣と一席空けるように等制限があれば、介助者・ボランティアが座れず、利用できない。もし制限があれば、考えてもらえるようお願いしたい。

〔知久事業推進課長〕

感染対策については団体の状況に応じた対策を取っていただければよいと考えている。資料に載せている感染防止対策で乗車人数の制限を緩和した内容については、少ない人数にしないと使えないということではなく、今までは1台で済んでいた人数でも2台に分けて構わないということである。団体の状況に応じて対策を取っていただきたい。今後の見通しは難しいが、ご相談をいただければ一緒に考えさせていただきたい。

### (2) 新型コロナウイルス感染症への対応について

〔茨木委員長〕

それでは、報告事項(2)新型コロナウイルス感染症への対応についての報告をお願いしたい。

〔各課長〕

資料3-1に基づいて、新型コロナウイルス感染症への対応について、各事業の所管課長より説明。

〔米山あゆみ荘所長〕

資料3-2に基づいて、説明。

〔茨木委員長〕

ご質問・ご意見等いかがか。

〔大友委員〕

令和3年度の事業方針の中で、各事業や事業所・団体における新型コロナウイルス感染症の影響を調査するとあるが、具体的にはどのようなことを考えているか。また、緊急事態宣言は解除されたが、政府の方針に基づいて、市内の障害者グループホームや地域活動支援センターに関して、今検討されていることがあるか教えてほしい。

〔大貫事務室長〕

具体的な調査の内容は今詰めているところである。3連絡会のアンケート調査の内容を参考にしながら、効果的な役立つ内容がまとめられるか、各団体にも相談しながら検討していきたい。

コロナ対策の具体的なものは横浜市とも意見交換をさせてもらっている。ワクチン接種が始まっているが、一方でコロナ感染症の第4波の心配もある。こちら動きながら状況を把握しながらやっていくしかないだろう。ただ、いつまでもこのままでいいということではないので、示させていただいた事業方針・計画に基づいて、感染症対策をしっかりと、「やってもらってよかった」と各事業が思っただけのよう進めていきたい。

〔茨木委員長〕

介助は距離が保てない支援である。介助が安全にできるためには PCR 検査やワクチンが必要になってくるが、まだすぐには回ってこない中で今何ができるかということを考えていたり、運営委員会の中でも提案していくことが必要だと思う。医療の現場のことは一般の人にも伝わってきているが、介護や障害者支援の現場でも感染に関わる対策で医療と同じくらい大事なことがたくさんあると思う。密で行う介助でどうやって感染を予防していくか、高齢者ケアと同様に取り上げてもらえるよう伝えていくことが大切である。

不要不急の活動こそが大事な人達が沢山いる。なぜ、移動支援や余暇活動が必要なのか、運営委員会、障害者支援センターとして伝えていく必要があるだろう。またそれぞれの方々に知恵を出してもらいながら、社会に伝えていくことをやっていきたいと思う。

〔大友委員〕

市精連の中でも、横浜市にもっと要求するよう話が出ている。オブザーバーできている横浜市の方に今何か考えている対策があれば教えてもらいたい。

〔障害施設サービス課・品田係長〕

今年度の補正でサービス継続支援事業や県の方の対象にならなかった慰労金等の助成をさせていただいた。来年度も引き続き実施していく予定である。かかる費用や従事して下さった方々への支援について引き続き継続していきたい。また、感染症対策として、保健所や事業所、法人任せということではなく、出てくる課題について共有し、不足なところは支援策を検討していきたいと考えている。

### 3 その他

〔茨木委員長〕

その他について何かあるか。

〔知久事業推進課長〕

席上配布している機関紙「お元気ですか 193 号」を3月に発行した。

次回の令和3年度第1回運営委員会については、6月28日(月)午後2時から予定させていただきたい。

〔茨木委員長〕

今年度最後の運営会となったが、皆様から他になれば終わりとしたい。今後ともよろしく願いたい。